

第1章 調査の目的と概要

第1節 調査の目的

高齢者の暮らしと介護についての意識や実態等を的確に把握し、栃木県高齢者支援計画「はっらっプラン21（八期計画）」（仮称）の策定及び今後の施策立案の参考に資することを目的とする。

第2節 調査の概要

調査概要は、以下のとおりである。〈表1-1〉

項目	内容
1. 調査地域	栃木県全域
2. 調査対象者	栃木県内の介護保険保険者(市町)に属する第1号被保険者(65歳以上の方)
3. 抽出数(発送数)	10,000人
4. 抽出方法	無作為抽出法
5. 調査方法	郵送法
6. 調査期間	令和元(2019)年12月14日～令和2(2020)年1月16日

第3節 利用にあたって

- ① 本文や図表中の数値については、小数点第2位を四捨五入している関係で合計が100%にならない場合があります。
- ② 「n」は、各問、選択肢の回答者数で、回答率の基礎となっています。
- ③ 複数回答の場合の回答率は、実回答者数を分母としていますので、合計回答率は100%以上となります。
- ④ 本文や図表中の選択肢表記については、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ⑤ 圏域の市町への発送数等については、〈表1-2〉の通りです。
- ⑥ 要介護度の区分について、「要支援1」から「要介護1」までを「軽度」、「要介護2」から「要介護5」までを「中重度」としています。

第4節 調査票の発送数、回収数、回収率

※調査票の発送数と回収数・率<表1-2>

圏域区分	市町名	第1号被保険者数(人)	調査票発送数(部)	圏域計(部)	回収数(部)	回収率(%)
県北圏域	大田原市	20,524	370	1,990	200	54.1
	矢板市	10,211	180		112	62.2
	那須塩原市	31,259	560		305	54.5
	さくら市	11,469	200		127	63.5
	那須烏山市	9,309	170		98	57.6
	塩谷町	4,186	100		45	45.0
	高根沢町	7,241	130		69	53.1
	那須町	9,686	170		102	60.0
	那珂川町	6,130	110		60	54.5
県西圏域	鹿沼市	28,432	510	1,020	283	55.5
	日光市	28,368	510		292	57.3
県央圏域	宇都宮市	129,576	2,350	2,350	1,434	61.0
県東圏域	真岡市	20,983	380	800	215	56.6
	益子町	6,854	120		81	67.5
	茂木町	5,185	100		46	46.0
	市貝町	3,333	100		43	43.0
	芳賀町	4,909	100		62	62.0
県南圏域	栃木市	49,051	890	2,360	492	55.3
	小山市	40,875	740		404	54.6
	下野市	14,769	260		153	58.8
	上三川町	7,170	130		88	67.7
	壬生町	11,394	200		119	59.5
	野木町	7,901	140		83	59.3
両毛圏域	足利市	46,596	840	1,480	467	55.6
	佐野市	35,412	640		337	52.7
無回答	—	—	—	—	42	—
合計		550,823	10,000	10,000	5,759	57.6

※第1号被保険者数(人)は、厚生労働省「介護保険事業状況報告」による。(令和元年7月末日現在)

第5節 標本誤差

※標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

この調査結果と真の値との差が95%の確からしさの誤差範囲一覧を下表に示す。〈表1-3〉

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
5,759	±0.77%	±1.03%	±1.18%	±1.27%	±1.29%
5,000	±0.83%	±1.10%	±1.26%	±1.35%	±1.38%
4,000	±0.93%	±1.23%	±1.41%	±1.51%	±1.54%
3,000	±1.07%	±1.43%	±1.63%	±1.75%	±1.78%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.03%	±3.10%

※b：標本誤差

N：母集団数（栃木県内の第1号被保険者数）

n：比率算出の基礎（回答者数）

P：回答の比率（%）

〈標本誤差の算出方法〉

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

〈表の見方〉

「ある設問の回答数が**5,759**人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%である場合」
その回答比率の誤差範囲は、最高でも±1.27%以内である。